



さざんか



内容

- 自主生産品紹介
- 法人内施設見学会
- 突撃！隣のケアホーム
(すばるホーム)
- 事業所ミニだより
- 第一回 育成会まつり
- ボランティア訪問 (カナリアの会)
- 茶話会の試み
- 栄養士さん・看護師さんの知恵袋
- 日誌
- 人事
- お知らせ
- 編集後記

発行 社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚さざんか福祉会後援会
運営事業所 宝塚さざんかの家 宝塚あしたば園 宝塚めふプラザ 宝塚けやきの里 ワークプラザ宝塚
かしの木工房こはま いきいき宝夢 障害者就業・生活支援センター (あとむ)
相談支援センター (だんぼ) 在宅支援センター
法人事務局／後援会事務局
宝塚市安倉西3丁目1番5号 宝塚さざんか福祉会 電話0797-83-6544 FAX0797-83-2510

さざんか福祉会が利用者とともに歩いてきた36年。目の前の利用者に向き合い、同じ時間を共有し、さまざまなニーズにこたえる中で利用者も福祉会も共に成長してきました。その過程の中で、生まれた様々な作業種・・・たくさんの利用者が携わり、自分の力を発揮していくことで、やがて、それが形になっていく・・・。

今回は自主生産品に目を向けてみました。



SasanQua ロゴマークと
自主生産品

ではなぜ自主生産品にこだわるのか。清掃や、企業提携の作業も大切な仕事ではありますが、より、オリジナルティを発揮し、利用者ひとり一人の能力に合わせた工程をつくり出すことができ、たくさんの利用者の方に関わってもらえる良さがあるからです。

自主生産品に利用者が関わることで、利用者一人ひとりの力が発揮され、製品が売れることによって、やる気と利益が発生し、それが、お給料になって返ってくることで、「仕事」の觀念が生まれてきます。しかし、まだ、福祉会が利用者の皆さんにお支払いできる金額は微々たるものです。

もつとたくさんの人から求められる製品を作り、安定した収入が得られるようになることで、利用者の方が一歩でも自立に近づけるように。宝塚の人たちだけでなく、地域を越えてもつとたくさんの人に知ってもらいたい、触れていただきたいという想いをこめて、統一ブランドの立ち上げを行いました。素敵なロゴマークも宝塚にゆかりのある宝塚大学の学生さんの手によるものです。

さざんか岡

さざんかの家で作成された最も古い自主生産品です。シルクスクリーンを使って一色、一色を重ねていきます。髭や、水しぶき等は、手描きになるので一点ものといってもいいかもしれません。

色は顔料を特殊な配合で作ったもので、お日さまに透けたときに、とても綺麗な発色が楽しめます。

また、手塚楓は手塚プロダクションさんから印刷和紙をいただいて、組み立てを行っています。手塚治虫記念館でこのお正月に展示させていただき、たくさんの問い合わせをいただきました。



組紐

同じくさざんかの家で生まれて、めふプラザでひそかな発展を遂げてきました。めふプラザで始めた時は2つの基本的な組み方しかできませんでした。この3年の間に、18種類に増えました。新製品の「かんざし」や、「ピアス」は夏の浴衣シーズンに良い出来栄です。プレスレットはめふプラザのメンバーだけで、ほぼ完成が出来るほど自立度が上がって来ています。楽しそうに取り組むメンバーの様子を見ていた。だきたいこともあり、昨年度から折を見て体験教室を行うようにしています。



ポストカード

いきいき宝夢のアーートの活動の中から生まれた作品を、ポストカードにしたものです。

「取り組んだメンバーの感性が溢れる作品は、かんでんコラボアート」でもたくさんの賞を頂き、そのカラフルな色づかいや、個性的なタッチは、イオンモールなどの販売でもたくさんのお客さんが手にとつて眺めていました。

原画と一緒に展示をすることで、その素晴らしさをより感じてもらえるようです。

今後も活動を広げていき、宝塚発のアーートの可能性を広げていきたいと思っています。



ステンドグラス

ワークプラザで始まって、さまざまな作品を作成してきました。ステンドグラスは一番利益率の高い作業で、その分デザイン性や仕上がりなどにかかなりのクオリティが要求されます。

今までのパネルやオーナメントのデザインはほぼ、市販の型紙を使用してきましたが、昨年度から芸大出身の職員が入ってきたことで、デザインから起こすことができるようになりました。

かしの木工房

こはまの玄関自動ドアと、明かり取りのブラストはオリジナルデザインの代表作と言えます。



織り

織り作業は、あしたば園で生まれて、これも30年くらいの歴史がありSasanQuaの主力製品にもなっています。定番商品からオリジナル商品制作まで、いつさい手抜きの無い仕事をしたいと自負しています。

お客様のニーズにあったものを、お店のスタッフがお客さんに注文を伺って、オリジナルオーダーにも対応しています。その人にしか織れない個性的なものや、色、パターンに対応した反物を製作しています。



売れ筋商品



クッキー・ケーキ

出張販売の様子



かしの木工房は、まさに全面移転し施設・設備のすべてが新しい中で、製品づくりに慣れてきたところ

です。皆様「おいしい」と喜んでいただくために原材料の選択から、新製品の販売まで、必死にならざるを得ない状況です。

今年度は、季節ごとに新しい商品を召し上がっていただけるように試作に励んでいます。

3月のブラウニーに続いて、4〜5月にはイチゴパウンドケーキ、4月後半からスノーボールが登場しました。スノー



スノーボール

ボールは卵を使用していますので、卵を召し上がりませんが、あまり固くないため、固いものが苦手な方にもサクサクとおいしく召し上がっていただけるものと思います。

好評の宝塚フィナンシェは、大劇場、ホテル若水、市役所売店、総合福祉センター内のCOOP Ro Sasagakiが、総代理店として販売させていただきます。

いているサロンや、デイサービスセンター、バザー会場、そしてかしの木工房はまでも、ご購入いただけるようになりました。また、今年度は地域の方との交流を兼ねて、焼き菓子教室を開催いたします。一緒に楽しい時間を持たせていただきたいと思います。

2010年にSasagakiが出来る、私たちの商品が常設でお客さんに見てもらえるようになりまし

た。お店のスタッフが手作りの現場を伝えてくれ、その価値をわかってもらえるようになりまし。そうした事でファンが増え、売上げは飛躍的に伸びてきました。大阪ギフトショーなどで一般の企業の方々と話をする中で、我々のお店が温かく地域の方々に支えられている現状にも気付く事が出来ました。しかし、まだまだ上手く利益に結び付けることは出来ていません。

より価値を表現している販路の開拓として今年度からインターネット販売にも取り組んでいます。今までつながって来たお客様や、企業の方、インターネットでの市場開拓。上手く結果を出しているようにしたいと思えます。宝塚の「さざんか」から世界表記の「Sasagaki」へと変わっていく未来。宝塚の地域を超えて、より社会に通じるものを目指して... 模索しながらも、進み続けます。

法人内施設見学会

「フコの手つき」拍手

24年度の法人内施設見学会は地域の方も参加され、10月に開設されたばかりの『かしの木工房 ことはま』を2月19日に見学しました。

今回のメインは利用者さんとのクッキー作り体験！

作業場の見学は早々に済ませ、いざクッキーづくりへ...

はじめに、手洗いの手順が書いてある洗面所ですっきりと手洗いと消毒。今回はクッキーの絞りだしと「ウインクとシンシア」クッキーの目を付ける体験をしました。目を付けるだけ？なんて思っていたら意外に難しい。目の大きさや、付ける位置が少し違うだけで全く違うものが出来上がりました。これは製品には出来ないかな？そして、絞り出しにも悪戦苦闘している横で鉄板の上に綺麗に並んだクッキーが... ともリズムミカルな手つきの利用者さん！「すごい」と見学者から拍手。さすがプロのパティシエです。

『かしの木工房 ことはま』は定員40名のところ現在まだ半数ほどの利用者さんです。これから徐々に利用者さんも増え、プロのパティシエの数も増えていくことでしょう。



(事業部)

☆ 外出、外食、音楽なども 楽しみまーす

年間3回ほどホームのレクリエーションで、みんなで出かけたり、外食したりされるようです。

最近では須磨の水族園まで行かれたようです。そんな話を聞いている時、隣の部屋から童謡が...

梶原さんが自室でレコード鑑賞を。あとで懐かしいレコードのジャケットもみせてくださいました。

彼のお部屋には大きなテレビ、レコードプレイヤーなども揃えてありびっくりしました。みんな音楽が好きで、特に演歌を好まれるようです。寡黙な方たちです。寡黙な方たちです。



したが穏やかに過ごしておられる様子から日頃の支援員さんの心配りとお互いのよい信頼関係を感じました。

☆ お部屋もどーぞ！

最後に、2階に案内され、3人のお部屋を見せてもらいました。ベット、机、タンスなどがきちんと整頓されていて感心しました。

これからは彼らがここで、楽しく、心豊かな暮らしができますようにと願いながらホームを後にしました。

(広報部)

突撃！隣のケアホーム

第八回 すばるホーム



3月25日花冷えのする夕刻、安倉中にある男性4名の「すばるホーム」を訪れました。

「宝塚いくせい会生活支援ハウスつばさ」「ゆりホーム」「あじさいホーム」などがあるエリアでした。

支援員の八木さんが「曜日によっては帰宅時刻が遅い方もいますが今日は4人揃っています」と私たち2人を迎えてくださいました。

☆ 先ず、夕食をいただきます

食卓には夕食の準備がほぼ整いつつありましたがもう箸を進めている方もあり、ちよつと驚きました。決まった席で、各人のペースで食事されているようです。



先にお風呂に入ってから食事を摂るのが習慣の方は後から支援員さんが付き合われて... それぞれこだわりがあるようですが日々の生活の中ではそれが自然に流れている感じでした。

とんかつ、揚げだし豆腐、野菜の和え

☆ 揃って朝食、行つてきまーす

食後、リビングで思い思いに過ごし始めている時、支援員さんから4人の方の今携わっておられる仕事などを伺いました。

朝食は揃っていたら、梶原さんは育成事業所へ、古庄さんはさざんかの家へ、下村さんはけやきの里へ。各自の特性を活かしながらがんばっておられるようです。小原さんは「たからぶか牛乳」へ、今日はビンの洗浄をされてきたようですが、シール貼りや素敵な文字を書かれています。通勤は徒歩で。時には遠回りしてまで歩か

れるというのが日焼けした顔に表れていました。職場、事業所、ホーム、家庭をつなぐ連絡帳があるようでお互いに連携をとりながら彼らを見守っておられるようです。

だ 所 業 事

り よ

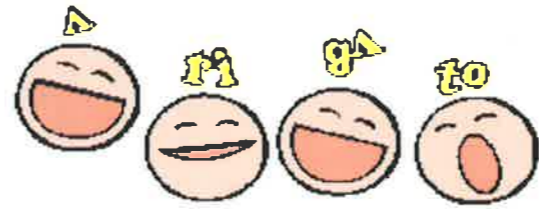
大切にしている支援のポイント

宝塚せざんかの家

週1〜2回の頻度でめふプラザの組
作業に利用者さんと一緒に参加していま
す。付き添いというスタンスで業務に取
り組んでいましたが、昨年度より、めふ
支援員の熱い思いに感化され、私自身も
製品作りに携わらせていただくようにな
りました。現在は利用者さんが仕上げた
組紐でプレスレットを作っています。素
敵な製品を沢山の人の手に広めたいとい
う思いがあります。

目的意識を持ち、まず自分自身が良
いと思ひ、楽しむこと、そうすることで自
然と利用者さんにも思いが伝わりと感
じています。こちらが作る雰囲気、空
気を大切にしています。利用者さんのモ
チベーションも高くなり、
私自身にもまたプラスに
なる。利用者、支援員と
の関係ですが、常に与え、
与えられるという「お
げさま」の気持ちを持ち
日々の業務に取り組んで
います。

支援員 大西 悠子



宝塚せざんかの家



利用者の方と日々関
わる中で大切にしている支
援のポイントは「よく
見る、よく聞く、よく話
す」ということです。支
援を行う上ではごく当
り前のことだと思いま
すが、その事をすべて
に対して、常に行って
いくことが求められま
す。「よく見る、よく
聞く、よく話す」とい
うことは、
その人がどんなことが
できて、何が苦手な
のか、どんな魅力があ
るかといった「その人
」に目を向けていき、
関わっていくことだ
と考えています。

また利用者の方に対
してだけでなく、職員
同士に対しても同じこ
とが言えると思いま
す。

ちょっとした気付き
等を職員間で共有し
ていくことなど、職員
同士の声の掛け合い
を密にしていくこと
で支援の質を上げて
いくことが出来る
と考えています。

今後、けやきの里を
はじめとしてさざん
か福祉会においての
ポイントが新人職員
にまでしっかりと行
き届くよう、普段の
関わりの中で様子
をしっかりと見守
つていくことや研
修等を計画的に行
い、伝えていく
必要があると思
われます。

所長 山本 健一

宝塚あしたば園

普段支援の中で大切
にしている事は
・笑顔で楽しい関
わり
・皆同じ「人」であ
る
・その人の良い所を
伸ばす
・その人の立場に立
つて考える
等です。

朝登園されると元
気に「おはようござ
います」と挨拶をし
て下さる方、ある職
員がお休みしていると
「先生ねんね」と
心配して下さる方、
日々の中でどれだけ
利用者さんから私
たち職員は元気を頂
いている事かわかり
ません。だからこそ
私たちもそれに
応えていけるよう
、笑顔で楽しく関
わることで、毎日
あしたば園に行
きたいと思っ
てもらえるよう
な事業所
にしていき
たいと思っ
ています。

また誰でも褒め
られることは嬉
しいものです。
作業など頑
張っているこ
とを認められ
ると自信とな
り、作業意欲
が高まると
思います。そ
して少しずつ
前進してい
けるように私
たちも支援
させて頂き
たいと思
います。

所長 竹内 ゆかり



ワークプラザ宝塚

ワークプラザのフレ
ッシュ・トリオ宮本・
市原・鶴田がこ
っそりお教えしま
す。

・信頼関係を築いて
けるように、みな
さんの思いを聞い
ていきます。

・そのために、
・本人の思いを知
ることや、変化に
気づくことのため
、積極的にみな
さんと話をしま
す。

・仕事だけでなく
仲間と楽しく過
ごせる場をつ
くるために、歌
の練習やイベ
ント等の余暇
活動に積極的に
関わります。

・みなさんが安心
して職員に自己
表出ができる
ような雰囲気
を作ります。

・みなさんの出
来ない点や難
しい点に目を
向けるのでは
なく、出来る
ことや出来る
だろうという
可能性に視
点を置いて日
々の支援を
行います。

・職員である
自分自身が
笑顔で落ち
着いた態度
や対応を
することで、
みなさんの
心身の安定
や安心に
繋がって
いきます。

支援員 宮本 絢音

市原 みずえ
鶴田 征吾



宝塚めふプラザ

めふプラザは他の
事業所とは違
った特色ある
工房的な事業
所です。その
為、手先の器
用さやセンス
の良さが必要
なものはない
かと思われ
がちです。確
かに大事では
ありませんが
、一人ひとりの
得意とするこ
ろで力が発揮
できるように
、作業工程を
細分化するこ
とで、みんな
の良い所ばか
りを集めた、
そんな「もの
づくり」を行
っています。

この人にはこれ
は難しいから
・・・と諦め
てしまつては
先に進みませ
ん。

利用者Aさんは
4年前から組
紐の作業に取
り組んでいま
すが、作業の
様子も活気が
なく作業中の
報告もままな
らないことも
あり、同じパ
ターンの組
み方から進め
ずに進めず
、それを去年
から見えて
いた職員が、
今までの組
み方を応用
した組み方
を試験的に
提案し、少
しづつ難易
度を上げて
、ついには
今までも誰
も組んだ事
のない組み
方に挑戦し
、悪戦苦闘
しながらも
完成する事
が出来まし
た。その完
成品が大
阪ギフト
ショーに展
示され、そ
れに加えて
、めふプラ
ザでは、自
分が一番に
その組み方
を完成させ
たというこ
とが大きな
自信となり
、その後の
作業は勿
論、昼休
みの運動
等にも積極
的になり毎
日の生活に
も大きな
変化をもた
らしています。

人それぞれ、悩
みや困難な事
はありますが
、一緒に考
えて、乗り越
えていくこ
とで一歩
踏み出し、
明日もめ
ふプラザに
行こうと思
える、そ
んな「明日
につながる
支援」を心
がけて行
きたいと思
います。



かしの木工房 とばま

昼休憩時の休憩室
：只今、趣味の
雑誌に夢中！新
聞にも。

私達が日頃か
ら心がけてい
る事は、利用
者の方ひとり
一人の気持ち
に寄り添った
支援を行い、
皆が笑顔で
過ごす事が
出来る環境
作りです。

かしの木が
スタートして
半年が経ち
ましたが、毎
日の朝の「お
はよう」から
「さようなら
」まで利用者
の方々、職員
ともに笑顔
で過ごす事
ができていま
す。

もちろん作業
時間は皆さん
真剣な表情
そのものです
。製菓は毎日
おいしいク
ッキー、ケー
キを作るだ
けでなく新
商品の開発
にも余念が
ありません。

企業提携では
皆がスキル
アップを意
識した作業
姿勢で日々
頑張ってお
ります。その
分、休憩時
間には談笑
や読書、ト
ランプなど
を楽しんで
おり、笑顔
が絶えません
。メリハリ
をしっかりと
つける事が
本場の笑顔
の秘訣と感
じております
。

支援員 辻 直人



いさぎよく宝夢

いさぎよく宝夢で掲げている支援のポイントを、「平成24年度 取り組みのまとめ」の所長のこぼからアレンジして抜粋します。

- ・常に新しい現状を知り、隔離されがちな入居者さんの支援をどのようにしたら良いのかを考える。
- ・人として完璧ではなく、失敗もたくさんするという前提で、答えがない、また終わりのない支援の中で、障害のある人との出会いがあれば、試行錯誤・一進一退しながらもやり続けていく。
- ・支援員である前に『人』としての倫理観や道徳観を自ら確立していく。そして、障害のある人の支援に邁進していく。
- ・『安全』『安心』『信頼』で、支援に取り組んでいく。

検討事項が山積みですが、日々入居者さんの豊かな人生を自己実現できるように支援に取り組んでいます。

主任 大谷 武志



第一回 育成会まつり

手をつないでつながろう
わかりあおう

桜満開の青空のもと『育成会まつり』が3月30日(土)に総合福祉センターで行われました。

パネル展示や掘り出し物いっぱい、のバザー、模擬店などがありゲームコーナーでは親子で輪投げや折り紙を楽しんでいました。

また、3階大ホールのステージでは楽しい歌声や、舞台と会場が一体となつてのダンスで盛り上がりつづけていました。午後からのビンゴ大会では、各会場からも続々と人々が集まりさらに盛り上がりつづけていました。来場者400名のうち一般の方は120余名でした。



一般社団法人宝塚市手をつなぐ育成会 会長浅山みゆきさんに今回「育成会まつり」を開催するいきさつを伺いました。「育成会は45年前に立ち上げました。諸先輩方のおかげで次々



ボランティア訪問

さざんかの家で月一回行われている、音楽ボランティア「カナリアの会」に参加させていただきました。

カナリアの歌声を届けて♪

キーボード(野口仁香子さん)とギター(大橋弘一さん)の伴奏にあわせて、まず毎月の季節の歌、テレビアニメソング、懐かしい童謡、手遊び歌、全28曲を利用者さんや支援員さんと歌いました。

今回はお二人に加え三名のボランティアさん(重岡孝子さん、古川真知代さん、平良千里さん)も参加してくださいました。

カナリアの会は、「歌の好きな人集まれ!」のかけ声のもと平成13年に結成され、約20名が在籍、月7~8回老人福祉施設を訪問されています。

さざんかの家のまはひはっ

社会福祉協議会から声がかかり、さざんかフェスタに参加したことがきっかけとなり、さざんかの家には平成21年6月から訪問くださっています。

いつもは老人施設対象で、障害者施設は初めてだったので不安や戸惑いがあったそうで



ギターとキーボードに合わせて



音楽に合わせて和気あいあいと歌い、踊る利用者の方々

茶話会の試み

後援会会長 小田切 隆幸

平成25年1月22日火曜日、かしの木工房(こはま)の食堂にて、18名の参加者のもと、茶話会を開催しました。

茶話会の目的は、リラックスした雰囲気の中で和気あいあいと忌憚のない意見の交換ができる場を持ちましようとの趣旨で始まりました。

- ・かしの木工房(こはま)については...
- ・工事期間中には、どのような建物が建つのか関心が高かったにも関わらず、今現在何をしているところかという発信が不十分である。
- ・お菓子を販売してほしい。
- ・先に見学した外部施設と比較して、建物についての意見も出ました。

後援会の参加について...

- ・保護者会長の任期と後援会の任期が異なることもあるので、引継ぎがうまくいかない。
- ・ホームページの更新を早く。
- ・保護者の加入促進できないか。
- ・茶話会ではなく、研修として、開催してよいのでは。

限られた時間の中で活発な意見が交わされました。

後援会などの会議でも思うのですが、熱心に参加していただき、意見を活発に交わす、情報を迅速に交わしあい、益々、発展していく後援会になるように期待をもって取り組んでいきたいと思っております。



組紐体験



スタンド体験

(広報部)



栄養士さん・看護師さんの知恵袋



みなさん食べることは大好きです。
昼食後はすぐに、「今日の晩御飯はなに？」と必ず聞く人がいます。
ですから栄養士は調理師とともに、毎食、安全で栄養たっぷり、美味いのは当たり前。さらに、食べてみんなの笑顔が広がりより健康に繋がる料理を出していくための工夫をしています。

その中のひとついきいき宝夢とワークプラザ宝塚では、毎月の「食育の日」にあわせ、4月から『日本の郷土料理』を出していくことにしました。日本は南北に長く、その地方地方のお国自慢、美味しい食べ物や料理がいっぱい有ります。4月はまず地元兵庫県の料理を出すことにし、日本海で取れた「ほたるいかに酢味噌和え」丹波篠山産の黒豆を使った「黒豆ご飯」、播州揖保の糸のそうめんを作る...



毎朝、テレビから〇〇クッキング、全国の美味しい情報もいっぱい入ってきます。次はこの県の郷土料理を出そうか、ただ今考案中です。お薦め料理があればぜひ教えてください。
また「春は苦味、夏は酢の物、秋は滋味、冬は油と合点して食べ」と、養生学者、石塚左玄が言っています。四季折々の体にあつた食べ方の教えです。口から食べたもので、自分の体を作っていきます。口は「生きる」の入り口です。
食べることに大切にしていきたいものです。

管理栄養士 玉谷 智美



こんにちは
12月から健康管理担当をさせていただいている看護師の渡部です。
よろしく願いいたします。

みなさん体調はいかがでしょう？

暖かくなってきましたね！そうかと思えば暑いぐらいの日もあります。
こんな季節の変わり目は、肌トラブルが多く発生しがちです。
紫外線といえば夏というイメージですが、春先になると急に紫外線が増えます。

冬のあいだ紫外線にあまり当たらない機会がなかった肌は紫外線に対する抵抗力が少なくなっている為、春先の紫外線を少し浴びるだけで、肌トラブルになる事があります。

【肌トラブル対策には？】

- 紫外線をできるだけ浴びない工夫をする・・・日傘、帽子、長袖の衣服をつけるなど
汗をかいたまま放っておかないこと・・・洗顔、シャワーをこまめにする
・トラブルがおきてしまった場合は保湿を行う
・日焼け止めの使用

陽気に誘われ外出される時はできるだけ予防策をとって出かけましょう！

看護師 渡部 奈美



日誌

自平成24年12月1日
至平成25年4月30日

さざんかよいところニバル

(安倉小学校)

- 12・1 後援会広報部会
12・13 法人虐待防止研修会
12・15 宝障懇クリスマス会
12・16 ワンワンクリスマス (シャインフット協賛)
12・18 ピピアめふメモリアルバザー販売
12・17 健康診断2
12・17 けやきの里1日活動
12・23 チキンラーメン発明記念館等
2・15 あしたば園 W班 1日活動
2・20 後援会主催施設見学会 (明石天文学館・明石公園)
2・20 (かしの木工房 こはま)
2・22 事業所実習受け入れ (さざんか)
2・25 事業所見学受け入れ (けやきの里)
2・28 1 かしの木工房 こはま
3・6 後援会常任理事・理事会
3・6 大阪ギフトショー出品
3・6 後援会常任理事 (京都方面)
3・8 こやの里特別支援学校卒業式出席
3・9 楓教室 (YMCA主催) 復興支援
3・12 兵庫県美術工芸作品展出品
3・31 育成会まつりに自主生産品体験 (めふプラザ)
4・6 小浜宿まつり販売 ブース、即売として参加
4・15 後援会広報部会 (かしの木工房こはま)
4・26 後援会理事会

人事

I 4月1日付異動

- 1 所長級 事務局長 平尾 晃 (新規採用)
2 主任 宝塚めふプラザ主任 堀 京子 (宝塚めふプラザ)
3 職員 宝塚さざんかの家 井上 健太 (宝塚あしたば園)
宝塚あしたば園 中村 丈二 (宝塚けやきの里)
宝塚けやきの里 片山 翼 (宝塚さざんかの家)
宝塚成年後見センター 水口 貴仁 (新規採用・生活支援員)
4 嘱託職員から一般職員への任用替え
坂本 宏太 (宝塚さざんかの家)
新井 絢子 (宝塚あしたば園)
浅山 瑠樹 (宝塚めふプラザ)
山本 萌薫 (宝塚めふプラザ)
廣島 忠延 (宝塚けやきの里)
市原 みずえ (ワークプラザ宝塚)
竹田 敦子 (いきいき宝夢)
河本 弘子 (いきいき宝夢)
山本 詩織 (いきいき宝夢)
元治 里恵 (いきいき宝夢)
川合 利尚 (在宅支援センター)

野田 大地 (在宅支援センター)

5 嘱託職員

- 川村 智子 (新規採用・事務員)
宝塚さざんかの家 和田 鮎実 (新規採用・生活支援員)
宝塚あしたば園 原田 靖貴 (新規採用・生活支援員)
久保 葵 (新規採用・生活支援員)
ワークプラザ宝塚 鶴田 征吾 (相談支援センター)
いきいき宝夢 神尾 秀樹 (新規採用・生活支援員)
水間 清美 (新規採用・生活支援員)
篠原 華 (新規採用・生活支援員)
相談支援センター 松尾 芳美 (新規採用・生活支援員)

II 3月31日付退職

- 石垣 雅子 (事務局長)
桜田 美加 (宝塚さざんかの家)
松尾 治江 (宝塚あしたば園)
加島 多美子 (在宅支援センター)



お知らせ

宝塚市手をつなぐ育成会

「大バザー」



日時 25年7月3日(水) 10時00分

～14時

7月4日(木) 10時00分

～11時30分

場所 宝塚市総合福祉センター

掘り出し物多数あります

各事業所の自主生産品も販売します

なお、バザー用品を提供して下さる方は左記までご連絡ください

電話受付期間・6月17日～6月21日まで

電話受付時間・9時30分～15時

育成会事務局 0797-86-9883



さざんか福祉会後援会 会員募集中!

後援会は、このような活動を

しています

○機関紙さざんかの編集発行(年二回発行)

○啓発や学習のための研修

○先進事業所の見学

○自主生産品の販売協力 等々

宝塚さざんか福祉会後援会

一般会費 3,000円

特別個人会費 10,000円

団体会費 10,000円

振込先 ゆうちょ銀行

口座番号 01160-0-0004373

加入者名 宝塚さざんか福祉会後援会



編集後記

知的障害のことを理解してもらうにはどのような啓発があるのか考えます。

今回の広報誌に掲載されている「育成会まつり」も、広く市民の皆さんに知的障害のことを知ってもらい、障害者(児)との交流を目的とした啓発でした。

その時にボランティアをして下さった方が「障害者の方と今まで交流をした事はありませんが頑張ります。楽しみにしています。」と仰って下さいました。大抵の方は何かきっかけがないと障害者と関わることが無いと思います。

前74号の小田切会長のインタビューでも「きっかけがないと仲間に入れないし、なかなか知り合いになれない。どう接していいのかわからない。」と仰っておられました。

私自身も障害の子どもができるまでは全く障害者と関わりを持つことが無かったです。色々な理由はある、何かきっかけができる

事で知的障害のことを知ってもらえると思いますので、まずはきっかけになるような事を考えて伝えて、そのきっかけから知的障害の理解につなげていけるように活動をしていきたいと思っています。

このさざんか広報誌の色々な情報も読んで下さった方のきっかけになれば嬉しく思います。

野口仁香子

